



盛岡市子ども科学館 × CASIO

since
1983



the
first
model

DW-5000C

30th Anniversary G-SHOCK

「タフな時計」という、従来にはなかったコンセプトを実現し

世界中にブームを巻き起こした「カシオ G-SHOCK」。

誕生したのは1983年。なんと、盛岡市子ども科学館と同年なんです!

そんなご縁もあり、今回のKnockは

「G-SHOCK」開発者・伊部菊雄さんに突撃インタビュー!

世界的ヒット商品が生まれるまでのウラバナシを伺いました。

HISTORY OF G-SHOCK

1988



Baby-Gの元祖とも言える
小型のボーイズサイズ発売。

1993



200m
潜水防水性を備えた
「フログマン」登場。

1996



メタル構造で
耐衝撃性を実現した、
初のフルメタルモデル。

2002



G-SHOCKでは初めての
ソーラー電波モデル登場。

2008



世界60の国時を受信する
「ワールドタイム」を
世界初搭載。

2012



スマートファンと通信できる
次世代時計誕生。

2013



発売30周年にちなみ、
記念モデルが登場。

2013
G-SHOCK、
世界推計6500万本
出荷を達成!

「盛岡市子ども科学館」は今年で開館30周年。

これにちなみ、2013年は「30」をテーマに、さまざまな事業を行っています。

フリーペーパー「Knock」もそのひとつ。

表面の特集では、いろんな「30」が登場しますよ。お楽しみに!



ちびっ子が
インタビュー

盛岡市子ども科学館と同年

G-SHOCK 誕生秘話

今年で発売30周年を迎えた「G-SHOCK」。

その開発者・伊部菊雄さんに、開発のきっかけから商品として世に出されるまでのアレコレを聞きました。



<伊部菊雄さんプロフィール>
1976年 カシオ計算機(株)入社。時計の外装設計を担当。
1981年 G-SHOCKの心臓部となる、耐衝撃構造開発をスタート。
1983年 G-SHOCKの商品化。
1988年 商品企画部に異動。
1996年 フログマンとして、フルメタルG-SHOCK(MR-G)を開発。
2008年 モジュール(エンジン)開発部のモジュール企画室に異動。
現在に至る。

「壊れた時計」が
企画のヒントに

ある日、会社の廊下で誰かとぶつかり、中学の入学祝いでもらった腕時計が床に落ちてバラバラに。その出来事を思い出して、「落としても壊れない丈夫な時計」と書いた企画書を提出したところ、なぜかGOサインが出てしまう。

実は、その企画書は「思いが先行して」書いたもの。スケジュールや設計のアイデアもありませんでした。それなのに開発に着手することになってしまった...

3階のトイレの窓から
時計を落とす日々

「衝撃吸収用のゴムをつけばいいだろう」と考え、ゴムを付けた時計を3階のトイレの窓から落とす実験を毎日繰り返す。1階に下りて見に行くと、時計はバラバラ。どんどんゴムを増やしていったら、とんでもないことに...



「3階から落としても壊れなかった試作品」を再現したもの。これでは腕に付けられない...。開発に暗雲が立ち込めはじめた...

「5段階衝撃吸収構造」を
開発! でも...

周りをゴムで囲むのは諦め、時計の心臓部「モジュール」に衝撃が伝わるのを防ぐ「5段階衝撃吸収構造」を考案。しかし今度は「部品が1つだけ必ず壊れる」という謎の現象に悩まされることに。



「5段階衝撃吸収構造」...
すべての部品の強度を同じにしようとしても、どうしても誤差が生まれてしまい、いちばん強度の弱い部品がダメージを受ける。これが「部品が1つだけ壊れる」という現象を引き出してしまった。

行き詰まり
お手上げ状態。
もう諦めるしかない?

「部品が1つだけ壊れる現象」を解決できないまま、期限が迫ってくる。次に考えたのは「会社はどう謝るか」。あと1週間とことん考えて、ダメだったら諦めよう、と決意し取り組むも、時間は残酷にも過ぎて行く...

金曜日になっても何も浮かばず、辞表を書こうと思ったり、「耐り方」を3パターンくらい考えました。土曜日の夜には、朝が来るのが怖くなり「寝なければ明日は来ない!」と思い込もうとしたら...

公園で見た子どもの
ボール遊びに
ヒントが!

タイムリミットの日曜日、暗い気持ちで公園のベンチに座っていると、まりつきをする女の子が。なんとなく眺めていると、突然「ボールの中に時計が浮いている」イメージが浮かぶ。...これだ!

「ボールの中に時計が浮かんでいれば、どんなに高いところから落としても衝撃は伝わらない。」から落としても衝撃は伝わらない。そうひらめいて考えたのが、「5段階衝撃吸収構造」に「点接触の心臓部浮遊構造」をプラスしたもの。パーツを点で接触させることで、衝撃吸収構造で守られたモジュールを中に浮いた状態に。



1983年4月 世界初の「タフな」時計 G-SHOCKが誕生!

実は、はじめにG-SHOCKの人気に火が点いたのはアメリカ。消防士や警察官に支持され、次第にスノーボーダー、ストリートファッションのアイテムとして人気に。1990年代に入ってから日本に「逆輸入」され、爆発的ヒット。

進化するG-SHOCK

1983年に発売され、1990年代後半に日本で大ヒットしたG-SHOCK。その後デザインや機能のバリエーションを増やし、「限定モデル」はレアなアイテムとしてプレミアがつくほどに。フェイスがひとまわり小さいモデル「Baby-G」も発売。Xカニックで確かなイメージのG-SHOCKとはまた違うラッフルでキュートなデザインで、女性ファンを増やしました。



スタッフ日記

「G-SHOCK」の開発者、ということで、インタビュー前は少し緊張していたのですが...とても気さくな人で、すっかりフランクになりました! 開発しているときは辛いことも多くて、いざ早くは開発エピソードを誰にも話さなかったら...でも「これだ!」というチャンスでとことん努力したことはよかった! という言葉が胸に響きました。改めて努力することの大切さを学んだ貴重な時間でした。

